

# 2025年度 すくわくプログラム実践記録

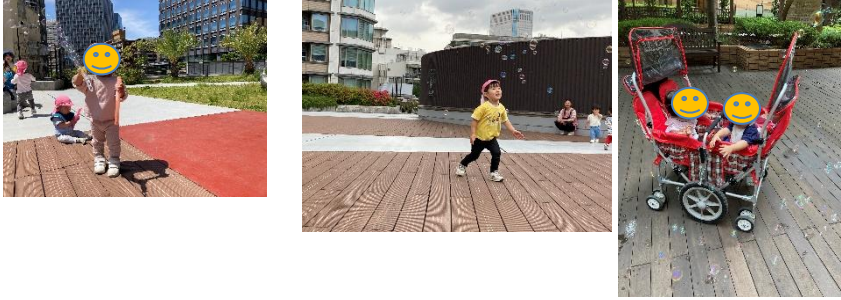
園名：おうち保育園ごたんだ

保育理念	シチズンシップ保育5つの基本	保育者の意図的な関わり
「こどもたちが自ら参加し、貢献し、楽しむ力」を育む	1. 感情を知る・感じる 2. やってみたいはチャンス！ 3. 小さなことでも自分で決める 4. わたしはわたし、違うことを認め合う 5. 対立は当たり前。話し合っ解決する	①「知る・感じる」 ②「ゴールイメージを持つ」 ③ナビゲートする


テーマ (こどもたちの興味・関心を深めらるもの)	光： 屋外での太陽の光を感じたり、暗い場所で光を感じたり、電灯の明かりを通した仕掛けものを見たり、透過性のある物質を通した光を触ろうとしたりする。また、光を自分でコントロールすることを試してみる
なぜそのテーマにしたか	0歳児のこどもたちでも光には敏感に反応し興味関心が高い。その行動は1歳2歳と月齢が高くなっていても引き続きあられ、常に刺激となっている。光とはどういった性質で、自分がそれをどのように感じるのかを深く知る。

## 【実践記録】


日付	2025/4～(通年)
「問い」 (テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い) *シチズンシップ保育5つの基本を参考に	お外でしゃぼん玉を自分で作ってみよう、光ってるかな？
環境のデザイン *素材や使用する道具、環境設定を決める	・ 戸外活動で行く公園、広場など ・ シャボン玉液、シャボン玉スティック

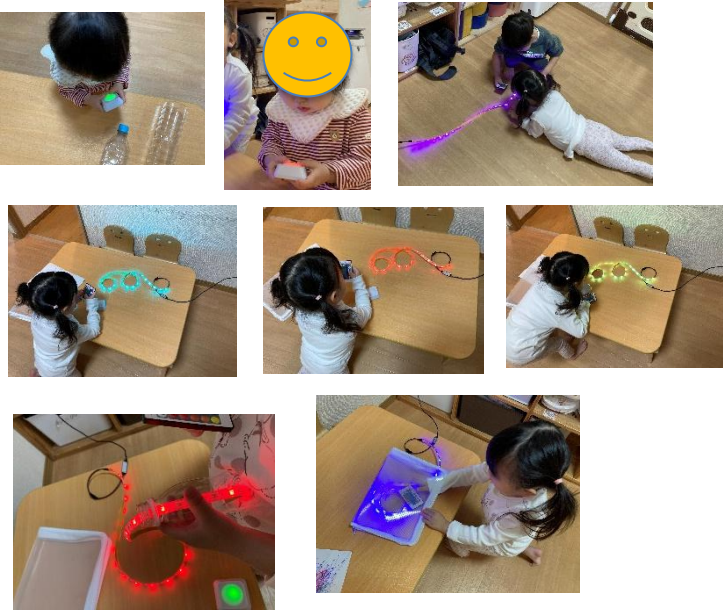
<p><b>探究活動</b></p> <p>*シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考に展開</p>	<p>保育者がシャボン玉を作って見せ、形や動きをよく観察するよう促し、「きらきら光っているかな？」といつもとは違う視点を伝える。</p>
<p><b>活動の様子（写真・映像）</b></p> <p>*申請時必要となります</p>	
<p><b>振り返り</b></p> <p>*保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする</p> <p>*保護者等へ共有する</p> <p>*振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもはすぐに壊してしまうシャボン玉について、2歳児を中心としてじっと見つめていた</li> <li>・2歳児がじっと観察している姿を見て、1歳児もいつもよりゆっくりとシャボン玉を見ていた</li> <li>・「きらきらしてる!」「なんできらきら?」「○○ちゃんのおかおがうつってる!」など、シャボン玉への観察が深まっていた</li> <li>・「きらきらしているのは太陽の光があたっているからだよ」と保育者が伝えると、「たいようはきらきら?」と興味が出てきていた</li> </ul>

<p><b>日付</b></p>	<p>2025/9/5～30</p>
<p><b>「問い」</b> (テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い)</p> <p>*シチズンシップ保育5つの基本を参考に</p>	<p>とんぼの眼鏡で太陽のきらきら・ぴかぴかを感じてみよう</p>
<p><b>環境のデザイン</b></p> <p>*素材や使用する道具、環境設定を決める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内で制作をする（セロファン紙、画用紙、のり）</li> <li>・戸外活動で行く公園、広場など</li> </ul>
<p><b>探究活動</b></p> <p>*シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考に展開</p>	<p>「とんぼのめがね」の歌をモチーフに“とんぼめがね”の制作をし、目の部分にセロファンを貼り、外でどのように見えるか試してみる。</p> <p>♪とんぼのめがねはぴかぴかめがね おてんとさまをみてから</p>


<p><b>活動の様子（写真・映像）</b> *申請時必要となります</p>	
<p><b>振り返り</b> *保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする *保護者等へ共有する *振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とんぼのめがね制作は透明感を出すのに何度か作り直しをしたが、0～2歳児クラスまで少しずつ作っていった</li> <li>・出来上がった制作物はガラスに貼ってみたが、光を透過する様子がわかりにくかった</li> <li>・制作物を戸外に持ち出し、太陽の光を感じる内容に変更した</li> <li>・園児たちには太陽を直接見ないように注意しながら、開けたフットサル場で“とんぼのめがね”を通して周囲を見る活動をした</li> <li>・1～2歳児クラスは空に向かってめがねをかざし、「どんなふうに見えるかな?」「おそらがいろいろな色になった!」「きらきら・ぴかぴかしてた!」と感想を言っていた</li> <li>・0歳児クラスは“とんぼのめがね”を顔にかざすのを嫌がる園児もいたが、おおむね見え方の違いを喜んでいた</li> <li>・歌と合わせると園児たちも継続した興味を持つことがわかった</li> </ul>

<p><b>日付</b></p>	<p>2025/7～（通年）</p>
<p><b>「問い」</b> （テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い） *シチズンシップ保育5つの基本を参考に</p>	<p>暗い場所で「光」は見えるかな？</p>
<p><b>環境のデザイン</b> *素材や使用する道具、環境設定を決める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室内で段ボールなどを設置し、暗い場所を作る（懐中電灯、ランタン）</li> <li>・保育室全体の電気を消し、プラネタリウムなどを投影する（プラネタリウム、投影機）</li> </ul>
<p><b>探究活動</b> *シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懐中電灯やランタンなどの灯りで光を感じ、暗い場所がどのようになるか試してみる</li> <li>・プラネタリウムや投影機を暗い場所で点け、天井や壁にどんな形の光になるか観察する。0歳児は光が動くのを楽しむ</li> </ul>

<p>展開</p>	
<p>活動の様子（写真・映像） *申請時必要となります</p>	
<p>振り返り *保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする *保護者等へ共有する *振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懐中電灯やランタンを園児に渡したところ、最初は明るい場所で点けていたためうまく光を感じられなかったようなので、段ボールを設置して暗い場所を作ると、自然と中に入って懐中電灯を点けて遊ぶことができた。「ここはおうちね。くらいからでんきをつけます！」と家ごっこをしたり、「ここ（段ボールの角）にする（光をあてる）とおもしろい」など2歳児クラスは各個人が思い思いに懐中電灯の角度を変えて光が当たるのを楽しんでいた</li> <li>・保育室全体を暗くしたと嫌がる園児もいたが、数回実施すると慣れて、プラネタリウムの星光を楽しむことができた。投影機で色とりどりの光を壁に当てると、それを0～2歳児みんなで追いかけていた。「あか！あお！」「おほしさまのかたちだ！」と園児同士で話していた。</li> </ul>
<p>日付</p>	<p>2025/8～（通年）</p>
<p>「問い」 （テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い） *シチズンシップ保育5つの基本を参考に</p>	<p>光をコントロールしてみよう</p>
<p>環境のデザイン *素材や使用する道具、環境設定を決める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のおもちゃと一緒にしない環境を作って実施する（リモコン付きライト、イルミネーションテープ、ペットボトル、セロファン紙）</li> <li>・0歳児クラスにはスイッチタイプのライトのみ</li> </ul>
<p>探究活動 *シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児クラスは、自分たちでリモコンを使い色や光らせ方をコントロールしてみる。慣れてきたらペットボトルなどを使って光の見え方を探求する</li> <li>・0歳児にはスイッチを押して何が起こるか変化を楽しむ</li> </ul>

<p>展開</p>	
<p>活動の様子（写真・映像） *申請時必要となります</p>	
<p>振り返り *保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする *保護者等へ共有する *振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で光の点灯や点滅をコントロールできる装置に興味津々であった。とくに0歳児クラスの園児たちは20分ほどカチカチと繰り返して遊んでいる園児もいた。自分で押すことが楽しいようだった</li> <li>・2歳児クラスの園児たちはリモコンで切り替えることを楽しむ一方で、園児同士で色を言い当てる遊びをしていた。その後、イルミネーションテープをペットボトル越しで眺め、中に入れて光らせていた。「もっと色をかえたい」との意見が出てきたので、透過性のある色セロファン紙を用意し、ペットボトルに貼って何色に見えるか園児同士で言い当てていた</li> <li>・ペットボトルではイルミネーションテープが入りにくく、最終的に保育士が入れるのを手伝うことになってしまった。もう少し口が広い入れ物を用意しておけば、園児たちだけでの探求がもっと深まったのではないかと感じた。</li> </ul>

<p>日付</p>	<p>2025/11～（通年）</p>
<p>「問い」 （テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い） *シチズンシップ保育5つの基本を参考に</p>	<p>光をコントロールしてみよう2</p>
<p>環境のデザイン *素材や使用する道具、環境設定を決める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のおもちゃと一緒にしない環境を作って実施する（リモコン付きスティックライト、投影機、コピー用紙、）</li> </ul>

<p><b>探究活動</b></p> <p>*シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考に展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちでリモコンを使い光の点滅や色をコントロールしてみる</li> <li>・自分たちで新しい遊びをさがしてみる</li> </ul>
<p><b>活動の様子（写真・映像）</b></p> <p>*申請時必要となります</p>	
<p><b>振り返り</b></p> <p>*保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする</p> <p>*保護者等へ共有する</p> <p>*振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0-1歳児クラスの園児たちは、スティックライトに興味を持つ園児とほぼ持たない園児にわかれた。</li> <li>・1歳児クラスの女兒は、スティックライトを見せると興味津々で保育士から使い方をならって、次々と色を変えて楽しんでいた。2本のスティックをお互いに持ち同じ色にできるかという遊びをしていた。「〇〇ちゃんはオレンジいろ!」「これはおれんじ?」</li> <li>・投影机やスティックライトを紙の下に入れ、透かしてぼんやりとした光を動かしていた。</li> <li>・自分の好きな光色に変化させ、スティックライトをマイク代わりにして歌って踊る園児もいた。</li> <li>・同じ色が変わるライトであれば、色当て遊びをすることもできた。違う色だった場合も、「どの色に近いのかな?」など近似色を選ぶこともできるようだった。光だけではない興味を深めることもできると考える。</li> </ul>